

上砂川町立上砂川中学校 校内研究紹介

校長 大脇 明子



第1学年「道徳」自分の個性に自信を持つために（内容項目A「向上心・個性の伸長」）

研究主題： 親和的な学校風土のもと、主体的に取り組む生徒の育成

副題： ボイスシャワー、「聞く」ことの指導を通して

教科・領域： 全教科・領域

公開研究会： 11月14日（金）

参加対象： 上砂川町教職員

日常の学校生活や授業において、生徒への前向きな声掛け（ボイスシャワー）の取組を組織的に行うことで、生徒自身が自己肯定感を高め、自分に自信を持ち、他者を信頼する心を育てることを目指し、研究を進めている。

- ・ 勇気づけ～良さが認知できる、失敗を次に生かそうとする
- ・ 居場所づくり～存在自体が認められる、活躍の場がある
- ・ 価値づけ～変容が自覚できる、成長が評価される

生徒の内面が変わることで、自分にも周りにも安心・安全が保障された環境が整い、生徒の意欲の高まることを目指している。

～校長所感～

本校では、小規模校の特徴を生かした生徒一人ひとりの学習進度や理解度に応じたきめ細かな指導や、自分のよさや他者を理解する学習を通して、自分に自信を持ち、周りからも認められているという安心感の中で、「もっと高まりたい」「もっと学びたい」という生徒の主体的な学びを実現できるよう授業づくりを行っています。

中学校卒業後の進路や将来の姿を思い描き、その実現のために、自分には何ができるのか、そのために何が必要かを自ら考えながら、困難を乗り越えるための方策を学び、仲間と協働・協力し合いながら課題を解決する力を身に付けることができるよう、一層の教育活動の充実に努めて参ります。